10月号 学校だより

９月 30 日発行
東京都立中野特別支援学校+しいの木分教室
校長　　伴　比佐志
https://nakano-sh.metro.ed.jp/

「次年度の準備について」　（副校長　中島　雄佑）

10 月に入り、今年度も残り半年となりました。次年度への手続きは、実質今からの５か月が大切な準備期間になります。特に、教育活動に必要な予算や体制を整えるためには、来年度に在籍する児童・生徒数や学級数、スクールバスの運行台数などを見込む必要があります。その中でも新しく入学する１年生の数はとても重要です。児童・生徒数から学級数が決まり、全教職員の人数などの学校運営の基本が整います。ちなみに東京都の来年度の予算の基本方針は７月に編成されますので、PTA 等の要望はその前に行なっています。このように、学校は、次年度によりよい教育活動を行うための準備が進んでいます。

小学部より（学部主任　佐藤　智子）

小学部では、９月～10月にかけて、全ての学年で校外学習を実施します。１・２年生は井の頭公園、３年生は木場公園、４・５年生は高尾山、そして６年生は修学旅行としてマクセルアクアパーク品川に行きます。校外学習では、友達と一緒に活動することや、公共の場所でのマナーやルールなどを、年齢に応じて体験していきます。当日楽しい１日となるように、生活単元学習では様々な事前学習を行っています。友達と手をつないで並んで歩いたり、ICカードの使い方を練習したり、子ども達は遠足に向けて意欲的に学習しています。学んだことを発揮できる楽しい校外学習にしたいと思います。




中学部より（学部主任　玉野　希）

「はたらく消防の写生会」に参加しました。この写生会は、消防の仕事への関心を高めるとともに、防火・防災意識の育成・向上を図ることを目的として東京消防庁が主催しているものです。本校では、消防車両等のイラストを見ながら写生に取り組みました。

中野消防署管内では 900 名以上の小・中学生が参加し、65 作品が入賞。そのうち 21 作品が優秀賞に選ばれ、本校から１名が優秀賞、２名が入賞しました。

９月２日には中野消防署から署長をはじめ４名の方々が来校され、校長室で表彰式を行いました。生徒たちは緊張した様子ながらも、一人ずつ署長から賞状を受け取りました。写真撮影では笑顔も見られ、受賞の喜びが伝わりました。入賞作品は消防署のホームページに掲載されていますのでぜひご覧ください。




高等部より（学部主任　森久保　歩）

Ⅲ類型の作業学習２では、様々な学習に取り組んでいます。校内で配布する文書等の印刷や配布、職員室や印刷室で使用する用紙の補充、校内の清掃、ゴミ回収等を常時行っています。定期的に近隣の施設に行って清掃をしています。生徒たちは緊張しながらも頑張っていました。また、作業学習では、近隣の商業施設へ紙パック回収をしたり公園の清掃をしたりして、地域交流しながら元気に取り組んでいます。

毎年、夏と冬には特別支援学校清掃技能検定があり、希望者が参加しています。学校には使用器材もあり、窓拭きや床清掃の練習も行っています。




しいの木分教室より（図工・美術担当　古山　武）

７月８日（水）に、しいの木分教室にて、「インクルーシブな学び」事業が行われ、愛成会に御持参いただいた様々な画材を使い創作活動を楽しみました。絵の具や色鉛筆の他にコラージュ用の色紙や雑誌の切り抜き、紙粘土やセンサリーバッグ制作に使うビーズやスポンジボール等々、たくさんの画材に児童・生徒は興味津々でした。共同制作用の段ボールハウスにローラーや手を使って着色する活動も順番に行い、カラフルな段ボールハウスができました。普段の活動ではなかなかできないダイナミックな制作活動を体験でき、有意義な時間を過ごすことができました。



